



日章学園九州国際高等学校校長便り 文月

建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：二倍の努力

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、

自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和7年(2025年)7月1日(火)校長 屋田伸仁



呉越同舟

All for One



「呉越同舟」という言葉があります。呉の国と越の国とは、何度も争っていました。ところが、両国の人々が同じ舟に乗り合わせ、しかもその舟が嵐にあつたときには、両国人は左右の手のように協力して対処するというのです。現在では、「ライバル同士が協力しあう」という意味に使われています。

日本留学試験に向けて、前日に壮行会を行いました。留学生たちは、日頃は、同じ教室でお互いにライバルとして、勉学に切磋琢磨してきました。受験は個人戦でもあり、団体戦でもあります。一緒に試験に臨む者同士として、「心をひとつに」して、ワンチームでがんばってほしいと激励しました。最後に全員で、「エイエイオー」と勝闘を高らかにあげました。

百歳まで描きたい



マンガの神様と言われた手塚治虫の代表作品に「鉄腕アトム」があります。

他にもマンガの名作を次々と世に送り出しましたが、その中に、馬を扱った作品があります。

「走れ！クロノス」です。少年と馬の心温まる友情の物語は、感動的です。

さて、手塚治虫は小さい頃からマンガが大好きでした。彼の中学生の頃は戦争時代でしたが、美術教師に勧められて、マンガを描き続けました。その一方で、勉学にも励み、大学の医学部に合格します。このまま行けば、将来はお医者さん。しかし、彼は悩みます。安定したお医者さんの仕事もしたい。また、大好きなマンガを描く仕事もしたい。どっちの道に進めばよいか。そこで、お母さんに相談します。すると、お母さんは何と言ったと思いますか。ふつうなら、「迷わず、お医者さんをやりなさい。」と言うでしょう。しかし、彼のお母さんは違いました。「あなたが本当に好きなことをやりなさい。」それで、彼はマンガ家の道を選びました。

仕事や生き甲斐について手塚治虫は言いました。「最後まで努力するのが、本当の生き甲斐だ。」

「百歳まで（マンガを）描きたい。」つまり、百歳まで続ける好きな仕事こそが、生き甲斐ある人生だと言っているのだと思います。

高校生にとって、生きがいのある仕事を見つけるのは、まだ難しいのかもしれません。しかし、自分の将来の進路について考えなければなりません。本校では、さまざまな職種の専門の方々の職業講話を聞いたりする機会を多く設けています。特に、本校は、学園グループの専門学校が充実しています。

日章学園グループ校の専門学校や短期大学校については、7月と12月に学園グループの上級学校の担当者に来校していただき、学校説明会や個人相談会、体験実習等も行っています。オープンキャンパスへの参加も勧めています。

- ①「宮崎ユニバーサル・カレッジ」(自動車工学科)
- ②「宮崎医療福祉専門学校」(看護学科、理学療法士養成学科)
- ③「鹿児島レディスカレッジ」(キャリア養成学科、ヘアーアート学科)
- ④「奄美看護福祉専門学校」(看護学科)
- ⑤「鹿児島ホテル短期大学校」(ホテルビジネス科)

日章学園グループは福祉分野にも力を入れています。養護老人ホームや認定こども園、保育園等もあります。これらの園や施設については、家庭科の保育実習で園児達と触れあったり、夏祭り、秋祭りにボランティアで参加し、ホームの方々と交わったりしています。いろいろな体験活動を通して、自分の将来の進路を決めてほしいと思います。

お知らせ

